

令和5年度 緑の募金

募金運動期間

春期 令和5年3月25日（土）～ 5月31日（水）

秋期 令和5年9月 1日（金）～10月31日（火）

皆様の温かいご協力、ありがとうございました。

「緑の募金で進めよう SDGs」をスローガンとして、緑の募金運動を進めています。皆様から寄せられた募金は、地域・学校などの身近な緑化の推進、次世代を担っていくみどりの少年団の育成等に有効に活用させていただいています。

森や緑を育てて、安全で住みよい故郷をつくり、次世代へ引き継いでいくため、一人でも多くの方に「緑の募金」への温かいご協力をお願いします。

令和5年度緑の募金の結果

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため街頭募金ができませんでした。学校募金、家庭募金、企業募金、職場募金、その他募金で合計20,172万円（11月30日現在）となり、募金目標額に対し98.3%の実績を上げることができました。

ご協力いただいた緑の募金は、外部有識者による「緑の募金等運営協議会」で審査等を経た上で、皆様方の地域環境の改善等に役立たせていただきました。

ご協力いただいた県民の皆様、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

「緑の募金」の緑化活動でSDGsに貢献



■青少年・民間活動グループの育成支援事業

8月6日に実施された、鳥取県木材青年経営者協議会の活動を紹介します。

この事業は、木森林・緑に対する県民参加の森林づくり運動の一層の推進を図るため、民間団体等のボランティア活動への支援を行うことが目的です。

端材を使ったオリジナルキット（小イス、木箱、小物入れ等）を作成する木工教室を実施しています。

子どもたちに木材の良さを体験してもらい、木材需要・森林整備・緑化推進の意識が高まることを期待されます。



■緑の募金交付事業（鳥取市支部の活動）



湖山西まちづくり協議会では、環境美化活動として湖山池北岸の草刈り作業を毎年2回行っていましたが、昨年からは草刈りだけでなく緑の募金助成事業を活用し、池沿いの遊歩道に花を植える活動を組み込みました。

この環境美化活動には毎回70名ほどの方が参加して下さるのですが、子ども達の姿はそれほど多くはありません。子ども達にもこの素晴らしい湖山池の環境に親んでもらいたいとの思いから、今年は11月2日（木）鳥取市の体験的学習休業日「やってみよう！でー」に合わせ、子ども達と花苗を植える事業を計画しました。

花苗は地元の鳥取県立湖陵高等学校で育てられたもので、マリーゴールドやハボタンなど約400株を湖山西小学校の子ども達とその保護者25名と共に1時間かけて苗を植えました。植えた苗に水をあげたあとは、広いグリーンフィールドで鬼ごっこなどをして沢山遊びました。お昼には地域のかたが作ってくれたカレーをおいしくいただきました。植えた苗は1カ月経ち、根付いて花が咲き始め、訪れた人々の目を楽しませてくれます。今後もこのような活動を地域のかたと共に続けていけたらと思います。



行こう！市民の山ふれあい交流事業（境港市支部の活動）

境港市では、飲料水・農業用水で日野川の恩恵を受けていることから、昭和56年、日南町阿毘縁に約86haの山林を購入し、「境港市民の山」として杉や檜の植林に取り組むなど水源かん養林の整備を行いました。

平成25年に新築した第二中学校の内装材の一部には、昭和58年から63年にかけて市内小学生が植林した杉を使用しており、森と水資源を守る学習にもつなげています。

昨年の7月に完成した、境港市民交流センター（通称：みなとテラス）のカフェでは、市民の山の間伐材を使った机が使用されています。

市民の山について、市民が学ぶ機会として、鳥取県緑化推進委員会の「地域づくりの推進事業」を活用し、「歩いて学ぶ！私たちの「市民の山」散策ツアー」を9月24日（日）に開催しました。

このツアーには、市民15名が参加し、往復約2kmの林道にて自然を感じながらゆっくりと歩きました。また、参加者一人一人が、栗の植樹を行いました。中でも、日南町森林組合による伐木の実演がとても好評でした。

市内に山の無い境港市ですが、緑化推進委員会境港市支部として、緑の募金を活用し、山林の大切さを市民に伝えています。



緑の募金寄せ植え講座（境港市支部の取組）

境港市内の自治連合会では、公民館と協調して、緑の募金を普及するための寄せ植え講座を行っています。この取り組みは、令和2年度に「渡公民館 こども寄せ植え講座」から始まり、市内に広がりました。

今年は、下記のとおり、市内で全5回開催され、緑の募金担当者が緑の募金について、現地でクイズを交えて、講座を行いました。

日程	内容	主催	交付主体
8月24日	「緑の募金」 こども寄せ植え講座	渡公民館	渡地区自治連合会
10月2日	「緑の募金」 寄せ植え授業 (中浜小3年生 × 長生会)	中浜公民館	中浜地区自治連合会
10月7日	「緑の募金」 こども寄せ植え講座	境公民館	境地区自治連合会
10月16日	「緑の募金」 大人寄せ植え講座	渡公民館	渡地区自治連合会
11月29日	「緑の募金」 大人寄せ植え講座	境公民館	境地区自治連合会



境公民館 植田館長

作った寄せ植えは、公民館まつりで展示され、足を運んだ市民にも、緑の募金の大切さを伝えることができました。

境公民館の担当者の土川主事は「コロナ禍が明け、植物と触れ合うことで笑顔を作れる場所を提供し、みんなに元気になってほしい」と述べ、植田館長も「来年も2回以上行う！」と笑顔で語っていました。

参加者も、緑の募金が市内で活用されていることに驚いており、緑の募金への理解が深まった様子で、この講座は、ただ「寄せ植えのやり方」を学ぶだけではなく、「緑の募金とはなにか」、「どのように活用されているのか」を学ぶ場所となっています。鳥取県緑化推進委員会 境港市支部では、地域住民と緑を増やす活動を行うだけでなく、緑の募金の意義を伝えています。



参加者の方々



参加者の作品

みどりの少年団交流集会

県内のみどりの少年団が集い、自然の中で相互の交流と活動の活性化を図るため「みどりの少年団交流集会」を毎年実施しています。座学や体験活動を通じて緑に親しみ、森林・川・海の関係について理解を深める機会となっています。

今年は9月23日（土・祝）に琴浦町赤碕ふれあい交流会館「ウッド・ピアあかさき」を拠点に開催し、北谷小学校（倉吉市）の4、5、6年生18人が参加しました。

（株）ニッスイ、境港サーモンの養殖などを手掛ける弓ヶ浜水産（株）、まき網漁業などを手掛ける共和水産（株）の3社（ニッスイグループ）の協力で森と漁業の関係を学びました。

木工クラフトを体験した後、ニッスイグループ3社の担当者から「森と川、海は水でつながっていて、森を守ることが海を守ることにつながる」ことから、水産会社が森を守る活動をしているという説明に耳を傾けました。

午後は5年前からニッスイグループが苗木を植え、育てている「おさかなをはぐくむ湧水と海を守る森」で、苗木が大きく育つよう鎌を使って周りに生い茂る雑草を刈る下刈作業に汗を流し、森林から始まる海の保全を体験しました。



学校環境緑化モデル事業完成式

10月6日（金）、米子市立湊山中学校（林原 ゆかり校長）、11月17（金）、琴浦町立八橋小学校（秋田 博文校長）で学校環境緑化モデル事業の完成式典が行われました。

この学校環境緑化モデル事業は、ローソングループが店頭募金箱等で集めた「ローソン緑の募金」を財源として各県の緑化推進委員会を通して、全国77の小・中学校及び特別支援学校に助成されたものです。

令和5年度、鳥取県内ではこの2校が助成決定を受け事業に取り組み、このほど事業が完成し、式典が行われました。

湊山中学校は、開校当時に植えられ、前庭で親しまれ大きくなりすぎた樹木を伐採・剪定を行い、八橋小学校は、創立150周年を記念してキンモクセイ、ギンモクセイの植樹、クスノキ・ヒマラヤスギ・サクラ等の剪定、藤棚の修繕を行いました。



米子市立湊山中学校



琴浦町立八橋小学校

■「森の教室」開催

11月13日～15日、琴浦町：こがねこども園、鳥取市：福部保育園、湖南保育園で「森の教室」が開催されました。

「森の教室」は「森の教室・どんぐりくんと森の仲間たち」のキャラバン隊が、保育園を訪れ、約1時間30分のイベントを行いました。イベントは森の楽しさを伝え、学ぶ「森づくりのキャラクターショー」、どんぐりくんとふぁみたんと踊るオリジナル「森のダンス」、園児とキャラバン隊で行う「どんぐり蒔き」の3つのプログラムで構成されています。

緑の募金キャラクター「どんぐりくん」と森づくりのためにつくられたAIロボット「ふぁみたん」、司会進行役の「森のお姉さん」が登場して、森について分かりやすく、楽しく、園児たちの参加形式で進められました。子どもたちは森の大切さを楽しみながら学んでいました。

「森の教室」はファミリーマートの店頭募金「夢の懸け橋募金」により行われています。



■木工工作キット配布事業

次代を担う県内の小・中学校を対象に、県産材を使用した木工工作キット及び木工作品製作用木材を提供し、木の良さを啓発することで、県産材の利用拡大に取り組んでいます。

毎年たくさんの小・中学校から申し込みがあり、木の良さやぬくもり、香りを感じてもらえました。一部を紹介します。(鳥取市立稲葉山小学校)



(感想)

- ・くぎを打つのが難しかったけれど、完成できてよかった。
- ・自分でもがんばったけれど、できないところは友達や先生に手伝ってもらって作りました。できあがって良かったです。
- ・学校や家で大切に使いたいです。
- ・家にも本立てはあるけれど、自分で作った本立てができてとてもうれしいです。



中国・四国地区 緑化功労者の表彰（伝達式）



（左：若桜町立若桜学園 小林校長）
（右：（公社）鳥取県緑化推進委員会 浜崎理事長）

若桜町立若桜学園が「令和5年度 中国・四国地区 緑化功労」を受賞され、令和5年10月26日（木）に鳥取県松江市で開催された「第72回（令和5年度）中国・四国地区緑化推進協議会総会」内で表彰式が行われました。

令和5年12月12日（火）に鳥取県議会議長室にて（公社）鳥取県緑化推進委員会 浜崎理事長から若桜学園 小林校長へ表彰状の伝達が行われました。

若桜学園では、花を育てることを通じて、生徒に優しく思いやりのある心を身に付ける「人権の花運動」に取り組むとともに、森林学習の発表、緑の募金活動等に取り組み、その学習成果を県植樹祭で発表するなど、自然を守ることの大切さや森林を管理することの必要性を広く発信しており、これらの活動が今回の受賞につながりました。

「みんなでつくるドングリの森」植樹祭

10月16日（月）に鳥取市のとっとり出合いの森にて、「みんなでつくるドングリの森」を守り育てている「森のともだち応援し隊」の植樹会が開催され、鳥取県内の73人の園児が、コナラの苗木を一人一本ずつ植樹しました。

この苗木は「森の教室」でドングリをまき、園児たちが大切に育てたものです。

この活動は、ファミリーマートの店頭募金「夢の懸け橋募金」を通じて「子どもたちの未来の森づくり事業」が活用され実施しています。

（三朝町）賀茂保育園33人・（米子市）南保育園20人・（境港市）聖心幼稚園20人が参加



株式会社新日本海新聞社様より「緑の募金」へご寄付いただきました。



(左：(株) 日本海新聞社 地域プロデュース局 局長 遠藤一郎様)
(右：(公社) 鳥取県緑化推進委員会 浜崎理事長)

12月12日（火）株式会社新日本海新聞社様から「緑の募金」へのご寄付があり、鳥取県議会議長室において、地域プロデュース局局长 遠藤一郎様より当委員会理事長（浜崎晋一 県議会議長）へ贈呈していただきました。

ご寄付いただきました「緑の募金」は、みどりの少年団の育成や緑化の推進のため有効に活用させていただきます。

「一株植樹」運動に参加しませんか。

樹木には、四季折々の表情があり、私たちの暮らしに潤いを与えてくれます。また二酸化炭素を吸収し、土壌を豊かにし、SDGs目標15「陸の豊かさを守ろう」の実現に貢献します。

「一株植樹」運動は、毎年実施している緑化推進運動の一つです。苗木生産者の協力を得て優良な苗木を格安に提供いたします。

緑豊かな郷土とするため、この運動に多くの方が参加され、緑を育てていただきますようお願いいたします。

まず身近な家庭の緑化から始めませんか。

ホームページ

協力 鳥取県山林樹苗協同組合・北栄グリーン

申込期間：1月～2月

苗木の引渡し：3月中旬頃にお渡しします。苗木の配布日・配達場所については各市町村役場でご確認ください。

会員募集のお願い

公益社団法人鳥取県緑化推進委員会は、県民の皆様による「緑の募金」等を財源として、森林の整備や緑化の推進を通じて、緑豊かな住みよい県土の発展及び国際緑化に寄与することを目的として設立された公的団体です。

本委員会の組織運営は、緑の募金及び正会員（県、市町村、団体、個人）及び賛助会員（企業）の皆様からの会費を主要な財源としており、県民の皆様のご理解・ご協力の上に成り立っています。

趣旨にご賛同いただける皆様のご加入を心よりお願い申し上げます。

会員年会費：個人・団体・企業 一口 1万円

お問い合わせ先

〒680-8570 鳥取市東町一丁目220
鳥取県農林水産部森林・林業振興局内
公益社団法人鳥取県緑化推進委員会
電話：0857-26-7416
FAX：0857-26-8192
URL：<http://www.tottori-green.or.jp>

